【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【公開番号】特開2017-117435(P2017-117435A)
【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)
【年通号数】公開・登録公報2017-024
【出願番号】特願2016-197269(P2016-197269)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/0484　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0488　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/0484　１７０
Ｇ０６Ｆ　3/0488

【手続補正書】
【提出日】令和1年10月8日(2019.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
移動可能なユーザインタフェース要素（ＵＩ要素）を表示装置に表示させる表示制御手段と、
前記表示装置に対するユーザー操作を検知する検知手段と、
前記ユーザー操作が前記表示装置上で検知された第１の位置を取得する取得手段と、
前記取得された第１の位置に基づいて前記ＵＩ要素が前記表示装置上で表示される第２の位置を決定する決定手段と、
前記検知手段による前記ユーザー操作の検知が終了したときの前記第２の位置を記憶する記憶手段と、
ユーザー操作の検知が新たに開始されたときの第３の位置と前記記憶手段に記憶されている第２の位置との距離を算出する算出手段とを備え、
前記表示制御手段は、前記ユーザー操作の検知が新たに開始された場合、前記ＵＩ要素を、前記第３の位置に基づき決定される第４の位置および前記記憶手段に記憶されている第２の位置のうちいずれか一方に、前記算出された距離に応じて選択的に表示するよう制御する
ことを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記表示制御手段は、前記検知手段により前記ユーザー操作の検知が開始した後に継続してドラッグ操作が検知された場合は、前記ドラッグ操作に応じて、前記ＵＩ要素を前記算出された距離に応じて選択された位置から移動して表示させる
ことを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記表示制御手段は、前記ユーザー操作の継続時間が閾値より短い場合は、前記ＵＩ要素が前記表示装置上で表示される位置を変更しないで表示させる
ことを特徴とする請求項１または２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記表示制御手段は、前記ユーザー操作の継続時間が閾値より長い場合は、前記算出さ

れた距離にかかわらず、前記ＵＩ要素を前記第４の位置に表示させる
ことを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記記憶手段は過去の複数の第２の位置を記憶し、前記算出された距離は前記第３の位置と前記複数の第２の位置に基づく
ことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記算出された距離は、前記複数の第２の位置のうち、前記ＵＩ要素が表示されていた時間に基づき選択された前記第２の位置に基づく
ことを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記算出された距離は、前記複数の第２の位置のうち、ユーザーによって選択された位置に基づく
ことを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項８】
前記ＵＩ要素は、前記表示装置上に表示される操作領域で所定の方向にスライド操作可能であり、前記表示装置に表示されるコンテンツの再生箇所を示すものである
ことを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項９】
前記コンテンツは、連続撮影画像および動画像および複数の静止画像および音声のうち少なくとも１つを含む
ことを特徴とする請求項８に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記表示制御手段は、前記ＵＩ要素の前記第２の位置または前記第４の位置に対応するコンテンツを前記表示装置に表示させる
ことを特徴とする請求項８または９に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
前記ＵＩ要素は、前記表示装置上に表示される画像上で移動可能であり、前記画像の画素を指定するものである
ことを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
前記ＵＩ要素は、前記表示装置上に表示される操作領域で移動可能であり、コンテンツの調整値を示すものである
ことを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１３】
前記記憶手段は、さらに前記ユーザー操作の検知が終了したときの時間を前記第２の位置に関連付けて記憶し、
前記表示制御手段は、前記ユーザー操作の検知が終了したときの時間からの経過時間に応じて、選択された位置に前記ＵＩ要素を表示するよう制御する
ことを特徴とする請求項１から１２のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１４】
表示装置へのタッチ操作を検知する検知手段と、
前記表示装置への第１のタッチ操作に応答して、前記第１のタッチ操作に対応する第１の位置に基づく処理を実行する第１の処理手段と、
前記処理の実行に用いられた前記第１の位置を記憶する記憶手段と、
前記表示装置への第２のタッチ操作が検知されたとき、前記記憶されている第１の位置と前記第２のタッチ操作に対応する第２の位置との距離を算出する算出手段と、
前記距離が所定値より小さければ、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第１の位置に基づく処理を実行し、前記距離が前記所定値より大きければ、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第２の位置に基づく処理を実行する第２の処理手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項１５】
前記第１の処理手段および前記第２の処理手段が実行する処理は、スライダーをスライダーバー上に表示する処理であることを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項１６】
前記第１の処理手段および前記第２の処理手段が実行する処理は、動画に含まれる複数のフレームのうちいずれかを選択する処理である
ことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項１７】
画像が前記表示装置に表示され、
前記第１の処理手段および前記第２の処理手段が実行する処理は、前記画像に含まれる画素を指定する処理である
ことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項１８】
操作領域が前記表示装置に表示され、
前記第１の処理手段および前記第２の処理手段が実行する処理は、コンテンツを調整するのに用いられるパラメータを指定する
ことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項１９】
前記第２の処理手段は、前記第２のタッチ操作の継続時間が所定値より長い場合は、前記算出された距離に関わらず、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第２の位置に基づく処理を実行する
ことを特徴とする請求項１４から１８のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項２０】
前記記憶手段は、さらに、前記第１の位置が取得された時間を前記処理の実行に用いられた前記第１の位置と関連付けて記憶し、
前記第２の処理手段は、前記記憶されている時間から第２の位置が取得されるまでの経過時間が所定値より長い場合は、前記算出された距離に関わらず、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第２の位置に基づく処理を実行する
ことを特徴とする請求項１４から１８のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項２１】
移動可能なユーザインタフェース要素（ＵＩ要素）を表示装置に表示させるステップと、
前記表示装置に対するユーザー操作を検知するステップと、
前記ユーザー操作が前記表示装置上で検知された第１の位置を取得するステップと、
前記取得された第１の位置に基づいて前記ＵＩ要素が前記表示装置上で表示される第２の位置を決定するステップと、
前記ユーザー操作の検知が終了したときの前記第２の位置を記憶するステップと、
ユーザー操作の検知が新たに開始されたときの第３の位置と前記記憶されている第２の位置との距離を算出するステップと、
前記ユーザー操作の検知が新たに開始された場合、前記ＵＩ要素を、前記第３の位置に基づき決定される第４の位置および前記第２の位置のうちいずれか一方に、前記算出された距離に応じて選択的に表示するよう制御するステップを有する
ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項２２】
表示装置へのタッチ操作を検知するステップと、
前記表示装置への第１のタッチ操作に応答して、前記第１のタッチ操作に対応する第１の位置に基づく処理を実行するステップと、
前記処理の実行に用いられた前記第１の位置を記憶するステップと、
前記表示装置への第２のタッチ操作が検知されたとき、前記記憶されている第１の位置

と前記第２のタッチ操作に対応する第２の位置との距離を算出するステップと、
　前記距離が所定値より小さければ、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第１の位置に基づく処理を実行し、前記距離が前記所定値より大きければ、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第２の位置に基づく処理を実行するステップを有する
ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項２３】
　コンピュータを請求項１から２０のいずれか１項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　本発明の一態様に係る情報処理装置の制御方法は、表示装置へのタッチ操作を検知するステップと、前記表示装置への第１のタッチ操作に応答して、前記第１のタッチ操作に対応する第１の位置に基づく処理を実行するステップと、前記処理の実行に用いられた前記第１の位置を記憶するステップと、前記表示装置への第２のタッチ操作が検知された時、前記記憶されている第１の位置と前記第２のタッチ操作に対応する第２の位置との距離を算出するステップと、前記距離が所定値より小さければ、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第１の位置に基づく処理を実行し、前記距離が前記所定値より大きければ、前記第２のタッチ操作に応答して、前記第２の位置に基づく処理を実行するステップを有することを特徴とする。